

ようこそ第9回研究報告会へ

新世紀は「データ爆発 (Data Explosion)」の世紀です。

巨大望遠鏡による宇宙の観測、衛星による地球環境の観測、巨大加速器による原子の世界の観測、ゲノムプロジェクトによる生物全遺伝子の測定、非侵襲装置の発達による脳の活動の実時間測定、古今東西の資料の電子化などより、日々膨大な再利用可能なデータが産み出されていきます。さらに、インターネットとウェブの普及によって、これらのデータをネットワークからいつでもどこでも誰でも入手できるようになってきています。したがって、私達にはこのデータの津波を泳ぎ切る智恵が必要です。

データ発信源の信頼性やデータの信頼性を判断し、有用と思われるデータを分散あるいは集中データベースに再構築し、そのデータベースから情報さらには知識を抽出する工夫が必要です。こうした工夫が達成されれば、私達は、新世紀を「知の爆発」の世紀とすることができます。すなわち、21世紀こそ、現実のデータと格闘しながらその情報化と知識化に取り組んできた情報知識学会の時代です。

研究報告会実行委員長

菅原秀明

(国立遺伝学研究所

生命情報・DDBJ 研究センター)

情報知識学会第9回(2001年度)研究報告会 プログラム

2001年5月19日(土曜日)
学術総合センター2階中会議室

09:30-10:15 セッション1: 言語と情報・知識 …… 座長 安永尚志(国文学研究資料館)

頻度情報を用いた漢字辞書の評価法 - 知識ベースの漢字入力に向けて -
堀 幸雄、池村匡哉(神奈川大学大学院理学研究科情報科学専攻)

漢字の異形字表記に対応した検索システム
阪口哲男、赤穂義範(図書館情報大学)

日米対応特許データに基づく対訳自動抽出
樋口重人、福井雅敏((株)パトリス)、
藤井 敦(図書館情報大学・科学技術振興事業団CREST)、
石川徹也(図書館情報大学)

10:25-11:55 セッション2: 情報・知識の共有と配信 …… 座長 細野公男(慶應義塾大学)

XMLのプレゼンテーションと検索
重元康昌(富士通(株))、
藤澤由美、宮崎 智、菅原秀明(国立遺伝学研究所)

情報共有によるZ39.50データベース選択支援環境
江草由佳、高久雅生、宇陀則彦、石塚英弘(図書館情報大学)

利用者からみたZ39.50を考える
鳥越直寿(インフォコム(株))

デジタル・アーカイブの現状と問題点
原田隆史(慶應義塾大学文学部)

同業者を集めた電子モールシステムの構築
平野貴弘、野上暁功、森川弘信、田中猛彦、中川優
(和歌山大学大学院システム工学研究科)

商業出版におけるコンテンツ配信の課題
深見拓史((株)廣濟堂)

13:00-14:40 招待講演: オントロジー …… 座長 藤原 譲(工業所有権総合情報館)

人工知能におけるオントロジーとその応用
武田英明(国立情報学研究所)

生命科学のためのオントロジー
高木利久、高井貴子(東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター)

14:50-15:50 セッション3: 情報・知識の基礎概念と構造 .. 座長 石塚英弘 (図書館情報大学)

情報知識学思案3

村上茂三 (止観第一研究所)

特定構文を用いた用語間の意味関係の抽出

石川大介、藤原 譲 (神奈川県立理学研究科情報科学専攻)

意味関係抽出による概念の構造化

近藤雄裕、藤原 譲 (神奈川県立理学研究科情報科学専攻)

構造化された知識を基にした情報検索システム

森本貴之、近藤雄裕、杉田勝彦、石川大介、池村匡哉、藤原 譲 (神奈川県立大学)

15:55-16:55 セッション4: 情報・知識の抽出・創生 座長 根岸正光 (国立情報学研究所)

XML 文章における意味情報の自動推定

中挟知延子 (東洋大学国際学部)

研究者ディレクトリデータベースからのキーワード抽出による分野間の関連分析

西澤正己、孫 媛、矢野正晴 (国立情報学研究所)

ネットニュースにおける対立の分析手法の提案

瀬尾雄三 (東京大学先端経済工学研究センター)、
矢野正晴 (国立情報学研究所)

「知識創発」を支援するドキュメント・マネジメント

西村 健 ((株)ドキュメント・エンジニアリング研究所)

17:00-17:40 総会